

農業者団体の名称	●●地区環境保全会
農業者名 氏名又は法人名	のうりん とうろ  農林 太郎

1 取組

(1) 水稻(畦畔の雑草管理※)

作業名	実施時期	備考
畦畔除草	令和●●年5月15日	
畦畔除草	令和●●年6月20日	
	年 月 日	

※水稻生育期間中は除草剤を使用せず、草刈機等を使用して除草する

(2) 水稻以外※

作業名	実施時期	備考
	年 月 日	
	年 月 日	

※交信かく乱剤の利用、天敵温存植物の利用、天敵等生物の利用のいずれか1つ以上を記載

2 栽培管理(5割低減の取組)

注) 同一作物で複数ほ場において取組があり、栽培管理の内容が同じ場合 →→→

(1) 作業工程

作業名	実施時期(月日)	備 考
播種	4月20日	
定植	5月10日	
収穫終了日	9月15日	

(2) 肥料等

【使用肥料】

資材等の 名 称	化学窒素成分 の割合(%)	実施時期	(kg/10a)	(kgN/10a) (A)	(kgN/10a) (B)	備 考
稲わら敷き込み	0.00%	令和●●年9月25日	全量	0.000		
ホーネンス培土1号	1.3g/箱	4月20日	18箱	0.024		
べんとう肥	8.00%	5月10日	0.3	0.024		
ケイカル	0.00%	4月20日	120	0.000		
エコ・5-5専用元肥	4.80%	5月10日	30	1.440		
エコ・5-5専用追肥	7.50%	7月15日	10	0.750		
味好2号	0.00%	7月25日	10	0.000		
合計				2.238	3.0	

(注1) 化学肥料窒素成分を含まない肥料や稲わら秋すき込みも含めて記入する。

(注2) (A)の合計 < (B)の値となっているか確認すること

3 農業者団体へ

■新潟県IPM実践指標 ①田間へ販売品系(10アール未満)の取組の場(アール)

忘れずに提出してあるか確認・チェックしてください。  
(領収書等のほか、正確に計量されたものであることがわかる伝票や表示票等、散布証明書等を添付してくださ

ほ場番号	作物名(5割低減)	備考	生産記録番号
70~80	<input checked="" type="checkbox"/> 水稻 <input type="checkbox"/> 大豆 <input type="checkbox"/> いちご <input type="checkbox"/> なし		7

(1) 水稻(メタン排出削減対策※)

作業名	実施時期	備考
秋耕	令和●●年10月10日	
	年 月 日	
	年 月 日	

※主作物が水稻の場合、左記の畦畔の雑草管理に加え、下記のいずれか1つ以上を記載

①水稻を栽培する年度の長期中干し ②水稻を栽培する前年度の秋耕 ③水稻を栽培する前年度の湛水不実施

□ 栽培管理が生産記録番号 \_\_\_\_\_ に記載した内容と同じ

(該当する場合、□にチェック及び下線に生産記録の番号を記載して、「栽培管理(5割低減の取組)」の記載を省略してください。

(3) 使用農薬

【使用農薬】

農 薬 名 (剤型等、商品名)	使用時期 (月日)	化学合成農 成 分 回 数 (C)	化学合成農薬成分回数 (D)
温湯種子消毒	3月15日	0	
タフスロック	4月10日	0	
フェルテラ播粒剤	4月20日	1	
ソルネット1キロ粒剤	5月1日	1	
月光ジャンボ	5月14日	3	
バサグラン粒剤	2月18日	1	
スタークル液剤10	7月29日	1	
合計		7	9

(注1) フェロモン剤、生物農薬等カウントしない農薬は記入する。

(注2) (A)の合計 < (B)の値となっているか確認すること

登録内容に合致した使用時期であることがわかるように記載してください。  
(特に、初期除草剤や後期除草剤の移植後日数や収穫前日数の使用制限)

化学合成農薬成分回数が「0」のものについても記載してください。

一部の資材がほ場で異なる場合、備考にその旨記載ください。

ほ場No3のみ

作物ごとに定められている回数を記載ください。

(注) 農業者団体に提出(原本は農業者保管)する書類名の□に、■または✓を入れる。

